

みどり福祉ホーム通信

横浜市緑区十日市場町 808-3 ● Tel.045(984)7878



芸術の秋 食欲の秋 みどり福祉ホーム祭り

来場者全員で作りに上げた
「ペットボトルキャップアート」。
1つ1つは小さいですが、色別に分けるととても綺麗。子供が中心になりペタペタ・・・



閉会式に最後のピースを
貼って完成！！
会場からは歓声があがりました♪



平成26年10月11日(土) みどり福祉ホーム祭りは、秋晴れの中、開催しました。今年もたくさんの方が来場され、地域の方々、他事業所の方々とも交流することができました。

今年は「芸術の秋」ということで、伊藤丈雄さんの一人ミュージカル、日体大のダブルダッチ、告うたでブレイク中のericcaさん、たんぼぼくらぶのチャダンス、紙芝居など、見て楽しい、聴いて楽しいショーがたくさんありました。また、「食欲の秋」ということで、ホームの利用者さん、家族会、地域の作業所の方の出店がありました。会場ではカシ、焼きそば、豚丼、ラスクなど、食欲をそそる香りが漂っていました。

当日も多くの方で盛り上がりましたが、前日の準備も地域の子供達が率先して万国旗や、歓迎のぼり、紙花の作成を手伝ってくれました。また、当日もホーム祭りに来てくれました。ホーム祭りが地域に浸透してきているのかなと思うと、とても嬉しく思いました。

「地域のなかで 自分らしく いきいきと生きる」
来年度のみどり福祉ホーム祭りもお楽しみに♪

～ほしグループの旅行～

9月17、18日に三浦半島方面へ、一泊旅行に行ってきました。

1日目は、油壺マリンパーク・城ヶ島公園

2日目は、ソレイユの丘でした。

☆「マリンパーク」では、サメに触ったり、「ダイオウイカ」の標本が大きくてビックリしていました。

☆「城ヶ島公園」では、広い敷地を利用したクイズ大会をしたり、凧揚げをして楽しみました。

☆「ソレイユの丘」では「ピザ作り」を体験したり、「タンブラーに絵を描く」体験をしたりと、事前に各々のメンバーが、選んだものを楽しんでいました。

☆ホテルは「三浦マホロバマインズ」に宿泊して、お目当ての「マグロの刺身」を、たくさん食べて、みんな満足していました。

食事は、「バイキング」だったので、食欲のあるほしグループのメンバーは、本当に美味しそうに食べていました。

☆天候にも恵まれて、楽しい体験をたくさんすることができました。

そして、お土産と土産話をたくさん持って帰宅した、ほしグループのメンバーでした。



～ソレイユの丘にて～

ゆめグループ



【旅行】
7月に山梨県へ
行ってきました！
富士急ハイランドでアトラクションを楽しんだり
花火をしたり...
2日目には水陸両用バスにも乗りました☆

私たち
ゆめグループは
毎日元気に
アクティブに！
活動しています

♪♪♪

【夜の外出】
八景島シーパラダイス
に行ってきました！！

いもほり

津久井湖



今年も
宜しくお願いします！



お月見



にじグループ♪

10月2・3日 三浦方面に旅行に行きました。
1日目はソレイユの丘でアニマルメロンパン作り
スイーツデコ体験などをしました。鉄板料理・カラ
オケ大会をしました。



2日目は、城ヶ崎方面に観光に行ったり、
油壺マリンパークに行きました。

～生活支援事業部～

昨年は新規職員の雇用に伴い、一時ケア利用の幅を広げた事で登録数も増え、多種多様なニーズを感じています。職員もニーズに応えられるよう、勉強の毎日を送っています。

また、昨年は余暇活動にも力を入れ、毎月の恒例行事となっているヨガ教室を初め、BBQや工作、外出活動などたくさんの余暇活動を企画してきました。今後の活動としては毎月のヨガ教室はもちろん、春の外出活動を初め、たくさんの楽しい余暇活動を企画をしていきたいと考えています。季節行事の一つとしてみどり福祉ホームの余暇活動があればいいなあと思い、職員一同、頑張っています。



こんにちは

さくらんぼ会

です。



こんにちは、みどり福祉ホームでいつもお世話になっております「さくらんぼ会」です。

毎日、たくさんの子ともたちが訓練室や交流室を使わせていただいています。いつも所長の荒木さんや職員のみなさんに声をかけていただきありがとうございます。

今年は、みどり福祉ホームで長年運営委員長さんをして下さっていた、石井さんより、たくさんのお母様たちや、子どもたちもお腹いっぱいいただくことができました。

果物が苦手という子どもが、まれにいます。とれたての果物は本当に美味しくていただくことができました。

「桃栗三年柿八年」ということわざがありますね。芽が出て、実がなるまでは、桃栗は三年、柿は八年かかるといいます。何事も成し遂げるまでには相応の長い月日がかかるというものの例えです。

まさにさくらんぼ会の教えも、そのことわざの通り、諦めない根気が必要になります。

十一月に幼児クラスで弘法山に山登りに行きました。三歳から六歳までの子ども達と親御さんヘルパーさんが、力を合せて登りました。

昨年は、泣いていた子ども達も今年はなんだか顔つきが違いました。山登りは年に一回なのですが、一年の積み重ねの成果が目に見えてよく分かります。

日々の成長は見えにくいですが、こういった行事を行うと、お母さん達は自信を持って、子育てをまた頑張ることが出来ます。

また、今年入会した子どもは泣いていても、また来年の山登りで成長することを期待しつつ日々の訓練を積み重ねていきます。

今年は、山登りの帰りに、なんと「ミカン狩り」「ポニーの乗馬体験」がありました。

ちょっと疲れてしまった子ども達もいたので、来年からは、初心に戻って、山登りだけに専念していこうという意見がありました。

もちろん、ミカン狩りも乗馬も貴重な経験ができて楽しかったという意見もたくさんいただきました。

そんなさくらんぼ会ですが、幼児クラスのメンバーを募集しています。

さくらんぼ会幼児クラス

火曜日▽さくら班

水曜日▽つぼみ班

木曜日▽土っ子班

午前十時～午後一時半まで活動しています。

☆母子分離・先生とのマンツーマンです。

☆十時～運動プログラム

☆十一時～課題別学習

☆十二時～お弁当・歯磨き

☆十三時～着替え・自由遊び

お母さんとの話し

☆月一回音楽療法

☆夏季合宿

☆山登り・ハイキング

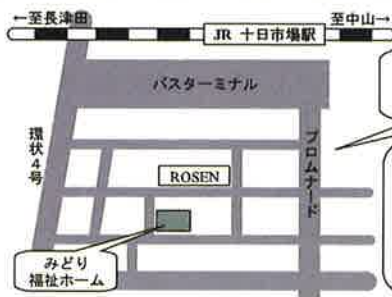
さまざまな行事もありますので、親子で楽しみながら参加してください。ぜひ一緒に子育てを楽しみ、豊かにしていきますよう。

☆ご連絡をお待ちしています。

訃報

長期に渡り、さくらんぼ会の子とも達を診て下さった、北村先生がおこなうことになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

みどり福祉ホーム 045-984-0801



えだ福祉ホーム 045-911-6968



電動車椅子サッカーって何？

皆さんは「電動車いすサッカー」という競技を知っていますか？その名の通り電動車いすを使って行うサッカーですが、その存在について知らない人が多いかと思えます。

私自身は5〜6年前に電動車いすサッカーの存在を知り、その時から現在に至るまでヨコハマ・ベイ・ドリームというチームに選手として所属し、練習に参加しながら大会にも出場しています。したがって今回は、選手としての立場から電動車いすサッカーの基本について伝えたいと思います。

電動車いすサッカーは1975年にフランスで発祥した重度身体障害者のスポーツの一つです。国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれており、2007年に初めて電動車いすサッカーのワールドカップが開催されています。

ルールについては次の通りです。

参加資格

性別は関係なく、5歳以上で電動車いすの操作が上手に出来れば問題ありませんが、もちろん身体障害者手帳を持っている必要があります。

試合出場可能人数

ゴールキーパーを含む1チーム4人ですが、選手交代は自由に来ますし、人数が3人しかいないチームでも試合に出場する事は可能です。

コートとボールの大きさ

バスケットボールのコート(15m x 28m)を使い、直径13インチ(32.5cm)のサッカーボールを使います。

試合時間

前後半20分ハーフで戦い、同点だった場合は延長戦やPKを行います。それでも決着が付かない場合は、くじ引きにて勝敗を決めます。

電動車いすのスピード

国際的には時速10km以下で試合を行います。国内で作成される電動車いすのスピードには制限があり、基本的には時速6km以下で試合を行います。しかし旋回(せんかい)のスピードに上限はありません。

ボールの蹴り方

電動車いすの前面にバンパーと呼ばれる金属のパーツを装着し、前進や旋回する時のパワーを使って蹴ります。転がってきたボールを180度の旋回で蹴ろうとすると、一瞬ですがボールが視界から消えるので難易度が上がります。

私が所属しているチームだけでなく、電動車いすの上に呼吸器を載せている選手はたくさんいます。そういった選手は逆に呼吸が安定し体も動きやすくなる事から、より冷静なプレーが出来るそうで手強い相手となります。また、お互い電動車いすの性能がほぼ一緒なので強いチーム同士の試合だと接戦になる事が多く、華麗なプレーを繰り出さ合うので、会場がとても盛り上がりします。

このようにたとえ重い障害があろうとも、電動車いすを上手に操作する能力さえあれば、障害の重さを感じさせない相手の意表を突く冷静なプレーや、阿吽(あうん)の呼吸により作り出された華麗なプレーといった、周りを驚かせただけなく自らを表現できる数限りある、武器の一つであると感じています。

ほしグループ 大滝 肇



結婚おめでとうございます！！

竹中幸二郎さん 若菜さん (インタビューー伊東)

(写真上)

結婚してから変わったことは？

「家事を手伝うようになり、
理想の亭主関白ではなくなりました」

奥さんのことをなんと呼んでますか？

「若菜、わかさん」

奥さんの好きなおところ、嫌いなおところを一つずつ

「笑顔がステキなおところ、一つ一つの行動が遅い」

これからどんな夫婦になりたいですか？

「笑顔の絶えない、
そして我慢をしない夫婦になりたいです」

伊東幸嗣さん 千秋さん (インタビューー竹中)

(写真下)

結婚を決めた理由は？

「一緒にいて安心するから、です」

結婚して良かった点は？

「守るものが出来て、責任感が生まれました」

結婚して気を付けていることは？

「嫁が笑顔だと平和になる(我慢と沈黙です)」

お嫁さんの好きなおところを一つ

「天然ボケがおもしろいところですね」



祭 夕涼み会 祭



昨年、7月25日（金）みどり福祉ホーム初の企画となった夕涼み会を開催しました。初めての開催ということで、来場者の方たちが来てくれるのか、盛り上がるか、とても心配でした。ですが、みどり福祉ホームに通所されている皆さんが夕涼み会の為に、一生懸命話し合い、宣伝活動を頑張ってくれたおかげで、たくさんの方に来て頂きました。また、ここまで盛り上ったのは、みどり福祉ホームだけの力ではありません。地区センターの協力、出店して頂いた他事業所、イベントに参加して頂いた方々のおかげもあり、みどり福祉ホームだけでは出せない雰囲気です夕涼み会をさらに盛り上げてくれました。本当に地域に支えられてみどり福祉ホームが生活出来ている事を、再確認する事ができ、感謝の一言で終えた夕涼み会となりました。

十日市場小学校の「ソーラン節」で大盛り上がりの中、始まった夕涼み会。筑駒ジャグラーズのジャグリングとバルーンアート、上野一座の紙芝居と子どもたちに大人気でした。最後にはパンポップママーズの演奏でスチールパンという楽器を使った生ライブで終わりました。「さんぽ」等の皆が聞いたことのある曲を演奏して頂き、終始、大盛り上がりでした。音楽に合わせ、利用者さんが踊っていたりと、会場が一つにまとまっていた、そんな瞬間でした。初めての開催という事で、反省もたくさんありますが、改善していくと共に、今後は更なる高みを目指したイベントを企画していきたいと思っております。

お正月豆知識

初夢で見ると縁起が良いとされている「一富士、二鷹、三茄子」ですが、続きがあるのを皆さんはご存知でしょうか？

地域や文献に諸説はあるものの、「四扇（しおうぎ）、五煙草（ごたばこ）、六座頭（ろくざとう）」と続くとされています。

扇は末広がりで子孫繁栄や商売繁盛の意味、煙草は煙が上昇することから運氣上昇、座頭は毛がないことから怪我なし、家内安全の意味があるのだそうです。ちなみに初夢は元旦の夜に見た夢ではなく、一日から二日の夜に見た夢のことを初夢、と言うそうです。



★ ★ ★ 寄付 ★ ★ ★

・NPO法人しもこう様
夕涼み会お祝い

- ・西浦様 祭り売上ほか
- ・木下財団様 作業機一式
- ・西田安子様・矢田絵美様・佐々木一誠様

本当にありがとうございます

Thankyou

2014年のビッグニュース

- 一月 STAP細胞発見
- 二月 佐村河内氏のゴーストライター問題 ソチ五輪で羽生が金メダル いいとも終了
- 三月 消費税が5%から8%に増税
- 四月 韓国旅客船沈没事故
- 五月 AKB握手会で傷害事件発生 中部電力が電気料金の値上げ
- 六月 STAP細胞の論文が撤回 富岡製紙工場が世界文化遺産に登録 集団的自衛権の閣議決定 県議号泣会見
- 七月
- 八月 広島県北部で大規模な土砂災害発生 デング熱が感染拡大
- 九月 御嶽山が七年振りに噴火
- 十月 ノーベル物理学賞を天野氏、赤崎氏、中村氏の三名が受賞
- 十一月 高倉健さん死去
- 十二月 はやぶさ2が打ち上げ



編集後記

みどり福祉ホーム通信も十号となりました。日頃からみどり福祉ホームを支えて下さっている皆様のおかげです。年も明け、年度としてはもう少し時間はありますが、気持ちを新たにみどり福祉ホームを盛り上げていきたいと思っております。

